

市光とヴァレオ、名古屋テクニカルセンターを開設

株式会社ヴァレオジャパンと市光工業株式会社は、2018年5月に愛知県名古屋市天白区に名古屋テクニカルセンターを開設します。

これまでヴァレオジャパンは愛知県豊田市に豊田営業所を構え、市光工業は名古屋名東区に中部支店を置いていましたが、このたび両社で同一拠点に名古屋テクニカルセンターを設けることとなりました。外資系サプライヤーとしては中部地域で最大級の体制を整えることで、営業力を強化するとともに、R&Dの大幅拡充を通じて、顧客への技術サポートを向上させていきます。

市光工業は5月7日(月)より、ヴァレオジャパンは5月14日(月)より新社屋での業務を開始いたします。

新住所： 〒468-0011 愛知県名古屋市天白区平針1丁目117番地

市光工業(株) Tel: 052-848-6002 (代表) Fax: 052-848-6014

(株)ヴァレオジャパン Tel: 052-848-6912 Fax: 052-848-6948

ヴァレオグループ

自動車部品サプライヤーであるヴァレオは、世界の全自動車メーカーのパートナーです。高い技術力を持つヴァレオは、CO₂排出量の削減と直観的なドライビングの発展に貢献する革新的な製品とシステムを提供します。2017年度のヴァレオグループの売上高は186億ユーロであり、OEM売上の12%を研究開発に投資しました。ヴァレオは、33カ国に184カ所の工場、20カ所の研究センター、35カ所の開発センター、15カ所の物流センターを構え、約111,600人の従業員を擁しています(2017年12月31日現在)。ヴァレオはパリ証券取引所に上場しており、CAC40指数に採用されています。

日本におけるヴァレオグループ

ヴァレオの日本における歩みは、1985年12月の日本法人設立から始まりました。主要な自動車メーカーが本拠地を構える日本は、ヴァレオグループにとって大変重要な国です。現在、株式会社ヴァレオジャパン、ヴァレオカパックジャパン株式会社、市光工業株式会社からなる日本のヴァレオグループ3社は、日本国内に17カ所の生産拠点、7カ所の研究開発センターを構え、約6,145名の従業員を擁しています。

市光工業

市光工業株式会社は、1903年創業以来、自動車用ランプとミラーの純正部品専門メーカーとして、国内主要自動車メーカー及び、海外主要自動車メーカーに製品を納入してきました。1932年には初代ダットサン(日産)へランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納ミラー、水銀フリーHIDヘッドランプやLEDヘッドランプなど独自の製品開発を主体的に行ってきました。2000年、仏ヴァレオ社と照明機器部門でアライアンス関係を締結し、2017年に同社子会社となりました。仏ヴァレオ社との連携を活かし、電子ミラーや自動運転対応などの新製品の共同開発、スケールメリットを活かした共同調達や共同研究開発による費用の削減、積極的な営業活動によるグローバル市場での追加のシェア獲得、顧客基盤の拡大や地理的な相互補完関係などの強化を進めております。また、神奈川県厚木市に新工場を建設し2019年7月の稼働を予定しております。今後5年をかけて伊勢原製造所の生産を移管し、新工場においては、リーン生産方式の採用や、ヴァレオ社の開発した生産技術コンセプトを採用し、生産の効率化を図ることで、ヘッドランプを中心とする事業の成長に繋がります。

<本件に関するお問い合わせ先>

市光工業株式会社 経営企画室 室長 高森	株式会社ヴァレオジャパン 広報部 部長 石井
TEL: 0463-96-1442	TEL: 03-5465-5710
http://www.ichikoh.com/	http://www.valeo.co.jp/